

敗血症



✓ 敗血症とは？

いろいろな細菌が体のあちこちから侵入し、体の中で増殖し、その細菌が血流に乗って全身に細菌が広がった状態です。その場合、下記のような症状がみられます。

☹️ 食肉検査で発見されると

生体検査で発見された場合は、**とさつ禁止**になります。

内臓検査で敗血症が疑われた場合は、精密検査等を行い、その結果によっては**全部廃棄**になります。

☹️ 原因

外傷、腸炎などが原因となる場合が多くみられます。特に豚では「尾かじり」などによる傷からも細菌感染が広がっていくことがあります。

✓ 症状

生体では重度の消瘦や発育不良、発熱やチアノーゼなどがみられます。内臓では心臓の内側にイボ状物（細菌の塊。写真参照）がみられたり、全体的に充出血がみられたり、リンパ節が腫れたりします。このような豚は食肉として出荷しないようにしましょう。

リーフレットに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

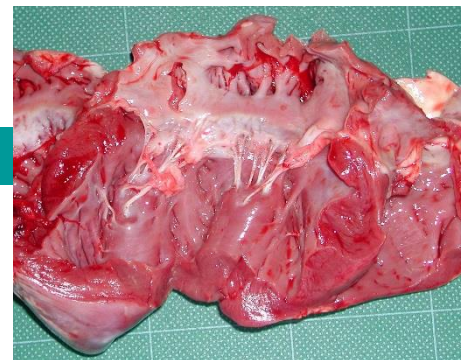
北海道東藻琴食肉衛生検査所

TEL 0152-66-2001 FAX 0152-66-3576

•E-Mail: abashiriho.higashi1@pref.hokkaido.lg.jp

（迷惑メール防止のため「@」を全角にしています。メールを送る際は、半角に置き換えてください）

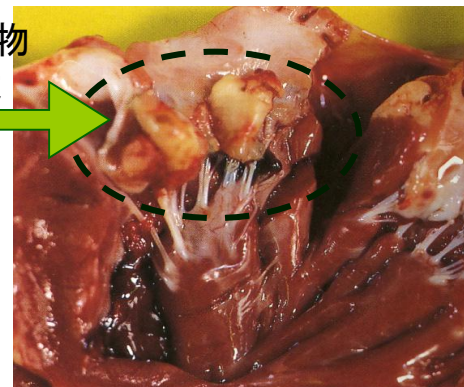
正常な豚の心臓（内側）



敗血症の豚の心臓



イボ状物
拡大



予防&対策

多発する場合は飼養環境や清掃・消毒・ワクチンなどの衛生管理プログラムについて獣医師などと相談し、再検討することが必要です。